



平成17年8月

第33号

札幌東高等学校同窓会

ごあいさつ

同窓会長 吉 中 新太郎



常任幹事の増員、役員の役割分担などの組織強化と、多くの同窓生が諸活動に参画しやすい同窓会を目標に、同期会はもちろん、地区別・職業別の組織の活性化を進めてきました。

昨今は、日本はもとより地球規模で、多くの問題・課題をかかえ、特異とさえ思える社会問題や事件が頻発し、今後、各分野での方向づけが必要な時代に身を置いていることを実感致します。

同窓会では、今春も、充実した高校生活をすごし、「札東高を卒業して良かった」という三百九十九名の新会員を迎えました。その母校は、再来年創立百周年を迎えます。その歴史の重みを感じるとともに、最近も、母校の卒業式など、学校行事に参加・出席する度に、校訓「克己自彌」の下、校風が引き継がれて来ていることを感じます。



そんな中で、同窓会は、ここ数年、つてのご挨拶と致します。

ごあいさつ



札幌東高等学校長

小原信夫

☆ スクールアイデンティティー

(SI)

「自ら人生を切り拓いて行く力が育つ学校」

スクールミッション (SM)

「受け身ではなく自ら学び考える姿勢を身につける」

「職業観・人生観について考え方、身につける」

「早期から進路意識の向上を目指す」

同窓生の皆様には、母校の発展のために、限りない愛情とご支援をいただき、厚くお礼申し上げます。

皆様方に、先ず、在校生の輝かしい成果をご報告申しあげます。すでに協賛のお願いをし、温かいご助力をいただいているところではあります。サッカー部が八月一日より千葉県で開催される、高校総体に駒を進めることになりました。体育系の団体競技では、開校以来の快挙であり、本校の新しい姿を象徴しているものと思います。また、サッカー部だけではなく、陸上部も全国大会連続十七年出場という、道内公立高校の記録を更新中です。この文章が皆様の目に触れるときには、全国での結果が出ているころかもしれません。東高生の名に恥じない、見る者の心に刻まれる戦いぶりとなっていることを願っております。

勿論、勉学でも、今春の卒業生は174名が国公立を突破、難関私立大学にも多数の合格者を出し、国公立の数は道内2位とトップを伺う勢いを見せています。特に、北海道大学の合格者は、現役六十七名、現浪合わせて一二一名と、過去最高となつた昨年度の数字、現役五十七名、現浪合計一〇一名を大きく上回る実績を収めました。

これらの中でも、一世紀に及ぶ本校の教育の底に流れる校訓「克己自彊」の下、3万6千名の卒業生を送り出し、国内外の各分野で優れた才能を輩出した東高の伝統であると考えております。

文武両道にわたる栄えある一世紀の歩みの下に、新しい第二世紀の更なる飛躍を目指し、東高校は、「克己自彊」としての役割を果たして行くため、自立する高校生、考える高校生を、スクールアイデンティティー、スクールミッションとして、新しい世紀へと旅立とうとしています。

東高校は平成十九年に百周年を迎えたことになります、創立百周年に向け

て、関係五団体による百周年記念事業協賛会が設立され、会長には、同窓会長である吉中新太郎様が就任され、実際に動き出されたところです。私ども

学校といたしましても体制を整えたところですが、同窓の皆様方には、今まで増して、一層のお力添えをいただかなければならぬものと思つております。どうか、母校発展のため理解いただきますよう、この紙面お借りしてお願い申し上げます。

最後になりましたが、皆様のご多幸とご活躍を祈念申し上げ挨拶といたします。

今、日本の子供たちは、「自分に対し自信の持てない、自分は役に立たない人間だ」という自己否定的な思いが強く、従つて、責任についても自分の責任を意識できない状況の中にいます。このように日本の二十一世紀は、閉塞感の中で夢や希望が持ちにくいま

まけとなつたようを感じられます。この閉塞感を打ち破り、新しい時代をしっかりと生き抜き、社会のリーダーとしての役割を果たして行くため

に、自立する高校生、考える高校生を、スクールアイデンティティー、スクールミッションとして、新しい世紀へと旅立とうとしています。



市立高女二十五期同期会の集い

二十五期同期会世話係代表 安井 キヨ

三年毎に開かれていたこの会も十二回の今回をもつて会を閉じる事になり、その会の運営を卒業時五組だった私共のクラスに廻って来ました。

会場をきめるに当り同期の六クラスの幹事さんに集つていただき相談しましたところ校舎のあつたこの地パークホテルに即決。六月二十二日八十八名の参加のもと無事終了いたしました。

なつかしい先生方も殆どが鬼籍に入られましたが、校舎のありましたこの地に立ちますとうすれゆく記憶の中にも数々の断片が浮かんで参ります。

当時はまだ着物を召された先生方も居られ羽織、はかまを着用され出席簿を胸の前に抱かれて廊下を歩いていたらしたものでした。体育、教練、なぎなたなども盛んで、うまく出来ないと大声でどなられたものでした。今回只お一人参加された岩崎先生は当時二十一才だったそうですが、私共にはもう充分大人の風格を持たれたこわい先生でした。今の二十一才の女性とは比べても幸多きものと感じつつ報告いたしました。

私共は又先の大戦のど真中の時代で

したので勉強はろくに出来ず、今日は農家の大根ぬきの手伝、今日からは車需工場、今日からは宿泊で地方へと動員されたのです。又校舎の西側の荒れたりもしました。終戦後米軍が戦車に乗りこう音と共に校舎の横を通つて進駐して来たのをこわごわ眺めたものでした。

あれから六十年近くたちました。物資も豊かになり文明も比べものにならない程進歩したのに何かしらとまどいを感じる世の中になりました。地球の温暖化、相変らず起る戦争、出生率の低下、理由なき殺人、低年令化した犯罪、とりわけ子供達に人を信頼してはいけないと教え込まなければならない時代になってしまったという事は本当に嘆かわしい事だと思います。

この様なことをあれこれ考えますと私共の学生時代は一生懸命に生きお互に連帯感を信頼感を持った時代でとても幸せであったと思います。

ともあれ後輩の同窓生の時代が少しでも幸多きものと感じつつ報告いたしました。



岩崎ミユ先生略歴

昭和15年3月

青森県立青森高等女学校

校卒業

昭和17年9月

東京家政大学

卒業

昭和17年9月

札幌市立高等女学校教諭

同校退職

昭和20年3月

青森県立青森高等女学校

校教諭

昭和21年4月

青森県立青森高等学校

教諭

昭和25年4月

青森県立青森高等学校

校教諭

昭和39年4月

青森県立青森東高等学校

校教諭

昭和40年4月

青森県教育庁指導課指

導主任

昭和40年4月

青森県立青森西高等学校

校教諭

昭和50年4月

青森県立青森西高等学校

校教諭

昭和53年4月

青森県教育庁指導課指

導主任

昭和55年4月

青森県立青森西高等学校

校教頭

昭和56年4月

青森県立青森中央高等

学校校長

昭和58年3月

定年退職

昭和58年4月

東北女子大学助教授

産業教育百年記念に當

昭和59年11月

たり文部大臣表彰

昭和61年4月

東北女子大学教授

勲四等瑞宝章受章

平成5年4月

東北女子大学現職

昨年を振り返つて



東二十一期 鎌田 勝幹

となり、当番期一年前には百五十人もが集う同期会を開く事ができ、その楽しさが二十一期の驚くほどの固い結束に繋がりました。

実際の当番期に当たっては、藤本君を始めとする三十五期の後輩の皆さん

始めて、昨年の私達九十五回同窓会実行委員会に皆さまで寄せられた、物心両面からの心のこもったご協力に、二十一期・三十五期を代表してお礼申し上げます。

私達の同期の多くが同窓会が毎年行なわれているのを知ったのは、もう十五年前の同窓会実行委員の七期先輩からの呼びかけからが始まりでした。

その時は何も分からずに、ただただ、先輩の皆さまに言われるままついて行動力に驚かされ、総会に至るまでの大変な思いだけしか残つていませんでしと、十四年先の当番期が来る事など考えてもいませんでした。

そんな時、同窓会の広告依頼があり、正直、又かと思いましたが、不思議と何年も会つていない同期の仲間の事が頭に残り、親しい同期友人達にその事を伝えて、同じ思いが同期会の始まり

の案内が届き、「今年の当番期も頑張ってるな」と余裕を持って、応援団で居られる自分にほつとして、良くもこの大変な努力が九十六回も続くなど何となく考えてしましましたが、その答えは、昨年実際に活動参加してみて良かつた、楽しかったとの思いが原動力



となり続いていること、また、青春の多感な三年間を並べ、毎日それぞれの大入への目標の中で走り抜けた時間も、東高生として共通のDNAとして持った事にも有ると。何十年も経てもまだ、あの頃の思いのまま、世代を超えて集い歓談できる同窓会は、東高OBの大切な財産である事も、私なりの答えに。

諸先輩の多くが読まれる中で僭越で

すが、困った時に助けられる事は少なく裏切られる事も在ると思いますが、「友多きこと、人生の財産かな」

同窓会実行委員の役目を通してだけではありませんが、今振り返っての思いです。

最後になりましたが、百周年を迎える母校の発展と会員皆様のご健勝をお祈り申し上げます。

昭和四十年に卒業した東高十五期生は、平成十七年五月十四日の夕刻、ルネサンスホテルサッポロにて卒業四十周年を記念して同期会を開催しました。

東高十五期生は男女合わせて五百三十六名でしたが、残念なことに物故者も増え、住所などが判かっている人は三百五十名ほどです。卒業以来三十周年、三十周年と五年おきに同期会を開催していますが、今回は恩師お二人を迎え、九十名ほどが一堂に会しました。中には四十年ぶりに顔を出した人もいて、老眼でも読めるほどの大きな字の名札とかすかに残る当時の面影を手がかりに、「お前は確か……たつたよな!」という会話を皮切りにしながら、夜が更けるにつれての四十年前へのタイムスリップを楽しみました。

担任の先生と同席して、緊張で全然酔えなかつた当時の不良学生の中には、二次会・三次会と翌日まで飲み直した人もいたようです。

次回は更に五年先の四十五周年になりますが、その前の二年後に還暦記念を是非という声もあり、すっかり気分的に若返った面々は「近い内に再会を」と声を

東高十五期卒業四十周年記念同期会 十五期四十周年会事務局 水谷 洋一



東京支部だより

当番幹事東高七期 岡田修

今回の便りは平成十五年十一月、東京同窓会の壇上に次期当番幹事期が上がった事から始まる。「来年はどうなることやら」とため息が会場から漏れ

次期当番幹事期となると、そうとばかりは言つていられない。東京同窓会の参加人員は平成十一年の百六十二名をピークに毎年減少している。母校がいつも帰れる港の一つだと認められるに至つていいのかもしれない。参加者の少ない同窓会ほど大切な役割を失っているものはない、当番幹事打ち合せでは、最初にこの認識からスタートした。まず「人を集めよう」、そし
て「来年もこよう」といえる会にした。そ
こ
と
り
は
言
つ
て
い
ら
れ
な
い
。



ヨコレート等、数々の道産品を思い出す
の景品として皆さんにお渡ししてきた
突如「高校三年生」の歌声がながれた。
壇上にいたのは工藤支部長をはじめ一
期の方々だった。会場が一つになつた
瞬間である。このように盛り上がつた
のも現役のソフトウェア技術者である
三十一期(当番幹事)佐伯君の活躍な
しではありえなかつたであろう。

会も終わりに近づき次期当番幹事期
の紹介になつた。壇上は人で溢れんば
かりだつた。このエネルギーみなぎる
人達が幹事なら次回同窓会は万全だろ
う。今回は参加者百十四名、卒業した
ての若者も来てくれた。漸く下降傾向

も駆けつけてくれるし、小笠原からも自家製のパッショングルーツをたずさえて二十五時間船に乗つてくる。青春の一時期を共有したというだけで、人

レットにおさめて配布しておいた。食事の合間にパソコンによるスライドショウを始めた。在校生の活躍に自分の学生時代を重ね合わせているうちに、高女・一高時代の陸上黄金期に話が進むと、会場からスキーでも日本一だったと出席の優勝者が紹介される。新制

た。言葉にするのも嫌だったという趣向で、時下の「援農」を描いた伊藤正先生のスケッチがこの日のために持参される。即座にパソコンに取り込み映されると、

イドで映し出されると、すかさず一期の方から「東高は先頭にたつて猛反発、自由闊達な校風を守った」との発言が飛び出る。よき伝統のルーツを知るにつれ母校に誇りを感じたひと時だつて、安堵した次第である。



函館支部の近況

東高九期 見上 隆克

第六四回札幌東高懇親会函館支部総会は、平成十六年十月三十日、函館駅前での「ひさご寿司」で十八名が参加して開催されました。

四二年近く函館に在住しながら一度も東高同窓会関連の行事に参加したことのなかつた私は、はじめてこの総会に参加しました。出席のきっかけは三月の定年退職という環境の変化のほかに、往復ハガキでの総会案内にかえて、封書が届いたことにあります。支部の活動状況や研修会の案内がのつており、また、札幌東高同窓会報に掲載された支部の近況も同封され、興味を引かれました。

総会当日は、最初に行われる「研修会」のために、元函館支部会員で、窓会常任幹事の中澤迪也さん（札東八期）が札幌から駆け付けてくださいました。白石地区ネットワーク会議の事業として行っている「小学校の校区」の通学パトロール隊の発足経過、意義、課題などが紹介され、地域活動の重要性を学ぶことができました。

の施設です。障害をもつた子らこそ無私の慈愛をもつて助けていこう、それは報われるものを期待しない、その子らによつて私たちも救われる愛でなければならぬ、障害者と共に育つていく社会を目指すという趣旨のもとに設

「おしまコロニー」の見学、本部年会費などについて話し合われた後、懇親会に入りました。懇親会では、自己紹介や近況報告など楽しい一時を過ごしました。最後には、会員が持ち寄った品々がオークションにかけられ、驚きの低落札価格のため、あつという間に完売となりました。その後上げは大場光（おおばてる）さん（高女二期）の運営する「おしまコロニー」に寄付いたしました。二次会も全員が参加し、松風町のスナックで札幌時代を懐かしんで大いに盛り上がりました。

立された施設です。五十以上の施設の中から、「おしま菌床きのこセンター」、「つくしんば学級」、「クッキーハウス」（上磯町追分・久根別）、地域交流ホーム「夢」、新生園、おしま学園、侑愛荘（上磯町当別）、函館青年寮（函館市石川町）の八施設を見せていただきました。施設全体が一つの機能共同体として一人一人に必要な場を確保し、地域社会に視野をとらえる基本姿勢を目の当たりにして、有意義な一日を過ごすことができました。

函館支部創立六五周年記念文集は本年総会前の発行を目指し、同窓会のことと日々の感想・俳句・短歌など内容に制約のない原稿を全会員にお願いしています。

函館支部創立六五周年記念文集は本年総会前の発行を目途に、同窓会のこど・日々の感想・俳句・短歌など内容に制約のない原稿を全会員にお願いしています。

同窓会への参加者が少なくなつてゐると言われる今日、たくさんの会員の方々が特色ある函館支部行事に参加していただき、年代を超えた楽しい語らい・交流ができるよう切望しております。

方々が特色ある函館支部行事に参加していただき、年代を超えた楽しい語らい・交流ができるよう切望しております。

函館支部の役員は次の通りです。新幹事として、見上、嶋田の二名が加わりました。

監查後町信子　築田満　札東十五郎
副會長宇都宮節子　高女六期
會長古河佑子　高女三十三期



幹事見上 隆克 札東九期

田村 紀子 札東十三期

// 萬年英博 札東二五期

事務局
藤島 健士 札東十六期
工藤 煉 板東二八期

卷之三

平成十七年六月十六日（木曜日）

第二十四回

東高同窓会ゴルフ大会

於 札幌芙蓉CC
ゴルフ部会長 氏家 保嗣

初夏の日差しが目に痛い程の絶好のコンディションの中、氏家会長の挨拶、その後三コースでの始球式の後、

第二十五回の『メモリアル大会』ですので、ゴルフ愛好者の方の参加をお待ちしております。

今回は三十六名が参加、内女性一名、コースでは東高一期、二期、六期の先輩方の元気なナイスプレーなどで多いに盛り上がりました。

成績は、左記の通りです。

| 優勝 | 秦 | 準優勝 | 南 | 三位 | 伊藤 | 四位 | 庵原 | 五位 | 得能 |
|-----|-------|--------|----------|----|--------|----|--------|----------------------|-----|
| 敬 | (東二期) | 規嗣 | (東六期) | 弘幸 | (東十三期) | 宏章 | (東十二期) | G | G |
| | | | | | | G | | 92 | 87 |
| | | | | | | 78 | | 85 | 87 |
| | | | | | | 78 | | 78 | 85 |
| 中島 | 光宏 | (東十六期) | 伊藤 | 弘幸 | (東十三期) | 勝 | (東十三期) | G | G |
| | | | | | | H | H | 20.410.8 | 7.2 |
| | | | | | | H | H | 71.671.270.870.670.2 | 4.8 |
| | | | | | | N | N | N | N |
| | | | | | | N | N | N | N |
| ベスト | グロス | 賞 | 73.270.8 | | | | | | |

| | | | |
|------|------|------|-------|
| 優勝 | 東十三期 | N | 287.8 |
| 準優勝 | 東一期 | | |
| 三位 | | | |
| 東六期 | | | |
| 本間幸男 | 伊藤弘幸 | 伊藤弘幸 | 得能 暉 |
| 南規嗣 | 藤原 守 | 藤原 守 | 朝倉一屁 |
| 榎本康彦 | 藤田昭治 | 氏家保嗣 | 嶋岡克行 |
| 西島國治 | | | |
| 伊藤秀行 | | | |

ゴルフ会 幹事



左から 南(東6期)、氏家会長、秦(東5期)



第56回 東高祭

テーマ
最狂宣言

7月15日・7月16日

晴天に恵まれた二日間。今年の学校祭も盛大に執り行われました。

同窓会室では「ひがし高98才」を開設。東高の沿革パネルを展示し、各期の卒業アルバム、東高60周年記念誌、90周年記念誌など皆様に読んでいただきました。

母校担当 秦
藤枝 靖規
中村 紀子



終身会費納付状況
(平成16年8月～平成17年6月の納付者)

| 会員番号 | 氏名 | 卒業期 |
|------|-------|-------|
| 115 | 金田 秀夫 | 東高18期 |
| 116 | 西岡千朝子 | 東高14期 |
| 117 | 松野 哲也 | 東高7期 |
| 118 | 北國谷静子 | 高女21期 |
| 119 | 福島 律子 | 東高9期 |
| 120 | 乙丸 修弥 | 東高9期 |
| 121 | 大場 光 | 高女21期 |
| 122 | 古賀 恭子 | 一高2期 |

| 期別 | 人数 |
|------|----|
| 高女4 | 5 |
| 高女13 | 1 |
| 高女16 | 1 |
| 高女21 | 4 |
| 高女24 | 8 |
| 高女25 | 2 |
| 高女26 | 4 |
| 高女27 | 2 |
| 一高1 | 14 |
| 一高2 | 11 |
| 東高1 | 5 |
| 東高2 | 4 |
| 東高3 | 4 |
| 東高4 | 10 |

同窓会では在校生にお茶など配りました。連日の暑さでしたので大変好評でした。少しでも同窓会のPRが出来れば幸いです。

同窓会室では在校生にお茶など配りました。連日の暑さでしたので大変好評でした。少しでも同窓会のPRが出来れば幸いです。

札幌東高校同窓会は、母校創立以来の卒業生延べ三万五千余名を会員とし、毎年、会員相互の交流と母校発展の寄与となる活動を行っておりますが、これらの活動経費を、入会金と年会費による収入だけで継続充実させることは、年々、困難な状況になりました。

そこで平成8年度の総会において、会則を「年会費は、一ヶ年五〇〇円とする」に加えて、「毎年納付にかえて、一〇、〇〇〇円を一時に納入することができる」と改正しました。さらに、昨年度の総会において、会則を「年会費は、一ヶ年一、〇〇〇円とする。但し、毎年納付にかえて、一口一〇、〇〇円を一時に納付することにより、終身会費とすることができる。」と改正しました。

終身会費納入の皆様には、「終身会費会員証」を発行しております。現在までの終身会費納入者は、毎年八月発行の同窓会報にご氏名を報告のおりますが、これは会員数に対して〇・三パーセント弱という状況です。つきましては、終身会費の趣旨をご理解下さり、終身会費納入にご賛同下さるようお願い申上げます。

| 期別 | 人数 |
|------|----|
| 東高9 | 5 |
| 東高10 | 4 |
| 東高11 | 1 |
| 東高12 | 3 |
| 東高13 | 3 |
| 東高14 | 6 |
| 東高15 | 2 |
| 東高16 | 2 |
| 東高18 | 2 |
| 東高19 | 1 |
| 東高21 | 1 |
| 東高22 | 1 |

| (平成17年6月現在) | |
|-------------|------|
| 札幌市立高等女学校 | 27名 |
| 札幌市立第一高等学校 | 25名 |
| 北海道札幌東高等学校 | 70名 |
| 計 | 122名 |

終身会費のお願い

平成十六年度 東高同窓会会務報

平成16年7月1日から1年間の主な会務について報告いたします。

1 総会及び支部活動、役員会等

- (1) 第95回同窓会総会 「東の風に、翼ひろげて。」
平成16年8月14日(土) 午後6時総会、6時30分懇親会
札幌ロイヤルホテル／当番期・東高21期、34期、54期、恩師、母校ご来賓はじめ多数のご出席をいただき盛況でした。
各位のご協力と当番期のご尽力に厚く御礼申し上げます。
- (2) 第27回東京支部総会
平成16年11月14日(日) 午後1時30分～4時／虎ノ門パストラル
当番期・高女25期、一高1期、東高1期、7期
出席者は111名で盛況、本部から幹事長出席
新役員・東高2期工藤恒美支部長(再任)、9期生尚志幹事長(新任)
- (3) 常任幹事会
平成17年2月4日(金) 午後6時30分／中村屋旅館／出席51名
平成17年6月20日(月) 午後6時30分／恵愛ビル／出席53名
- (4) 定例幹事会
平成17年6月27日(月) 午後6時30分／恵愛ビル／総会議案審議、会券配布／出席62名
- (5) 執行委員会
平成16年8月14日(札幌ロイヤルホテル)
平成16年11月9日(恵愛ビル) *新旧当番期引継ぎ会を併せ開催
平成17年5月26日(恵愛ビル)

100周年協賛、個人情報と名簿、役員改選、終身会費会員カード
平成17年6月30日(恵愛ビル)三役会／100周年組織、総会、日程他

2 同窓会報

平成16年8月14日(土) 第32号を発刊、配布。

3 ゴルフ同好会

平成17年6月16日(木) 定例ゴルフ大会開催
平成16年4月14日(木) 第32号を発刊、配布。

4 母校関係他

(1) 第55回東高祭
平成16年7月15日(木)～17日(土)
テーマ「EXPROSION」
同窓会ルームを開設し、アルバム・パネル展示、在校生にお茶を提供。

(2) 在校生支援
平成17年3月、例年通り体育・文化、学友会活動に助成実施。

(3) 新入会員関係
① 新入会員入会式
平成17年2月28日(月) 第55期卒業生の入会式／幹事委嘱状授与、記念品配布
② 新幹事研修会
平成17年5月26日(木) 55期新幹事の研修と交流会開催

(4) 後援会

(財)札幌東高等学校後援会に、理事長他の役員として参画し、運営費の一部を負担。
六、「札幌高同窓会報」第33号を発行します。

(5)(6) 母校100周年記念事業協賛会に参画
「帰国記念コンサート」後援
東高46期関葉月さん他2人の「帰国記念コンサート」後援

(付記)

会計処理について（1月常任幹事会、6月幹事会承認事項）

① 一般会計の流動性を保つため、母校事務長(会計取扱責任者)と同窓会幹事長(総括責任者)協議の上その必要あるときは、同窓会長の承認を得た後、学校長決済により別途積立金預金を一般会計で運用できる。一般会計からの戻し入れは可能な限り早期に行う。

② 同窓会会計の健全性保持のため、全ての預け入れ金を可能なものから決済用普通預金に切替える。

③ 同窓会会計の定期性保持のため、全般運営に努めます。

④ 支部・同期会・同好会に対する支援を継続して行います。

平成十七年度 事業計画(案)

充を継続して計ります。また、支部規程をはじめとする会則の検討を進めます。
八、母校100周年記念事業に、会員の総意を結集して参画します。

同窓会事務局から

◎ 同期会に助成金
別掲(16ページ参照)

◎ 住所などの変更はハガキで
住所・電話・勤務先など変更された会員は、事務局又はメンテナンスの会社へハガキでお知らせ下さい。(連絡先は役員名簿参照)

◎ 会費について

上年会費と終身会費は、同窓会運営上の大きな財源として運用され、母どの助成にも活用されています。終身会費は一口一万円で何口でもお受けいたします。会員各位の特段のご協力をお願いいたします。

◎ 同好会に参加を

同好会の会員による懇親の集まりにふるつて参加しませんか。今年はゴルフの同好会が開かれました。ほんか企画やご希望をお寄せください。

◎ 会報の送付を希望される方や、同好会、その他ご意見などございませんか。事務局までお寄せください。

札幌高同窓会報 第33号を発行します。

003

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809

0809</

■会計報告

平成16年度決算報告並びに平成17年度予算（案）

(単位：円)

(平成16年7月1日から)
(平成17年6月30日まで)

(平成17年7月1日から)
(平成18年6月30日まで)

☆一般会計 平成16年度決算書

(収入の部)

| 科 目 | 予算額 円 | 収入額合計 円 |
|--------|-----------|-----------|
| 前年度繰越金 | 48,373 | 48,373 |
| 新入会員会費 | 800,000 | 997,500 |
| 会 費 | 750,000 | 353,500 |
| 雑 収 入 | 751,627 | 661,007 |
| 計 | 2,350,000 | 2,060,380 |

(支出の部)

| 科 目 | 予算額 円 | 支出額合計 円 |
|----------|-----------|-----------|
| 事務局費 | 150,000 | 75,504 |
| 事務用品費 | 40,000 | 1,323 |
| 印刷費 | 15,000 | 1,260 |
| 通信費 | 100,000 | 118,365 |
| 慶弔費 | 80,000 | 65,210 |
| 会議費 | 430,000 | 464,352 |
| 総会関係費 | 300,000 | 300,000 |
| 会報発行費 | 160,000 | 153,090 |
| 学校祭関係費 | 160,000 | 131,100 |
| 同期会等助成費 | 200,000 | 170,000 |
| 新会員関係費 | 330,000 | 240,975 |
| 体育文化助成費他 | 230,000 | 230,000 |
| 特別会計積立金 | 100,000 | 100,000 |
| 予 備 費 | 55,000 | 0 |
| 計 | 2,350,000 | 2,051,179 |

平成17年度予算（案）

(収入の部)

| 科 目 | 予算額 円 | 適 用 |
|--------|-----------|------------------------|
| 前年度繰越金 | 9,201 | |
| 新入会員会費 | 1,074,000 | 358名×3,000円=1,074,000円 |
| 会 費 | 350,000 | 年会費・終身会費 |
| 雑 収 入 | 646,799 | 総会準備金戻入、総会剩余金外 |
| 計 | 2,080,000 | |

(支出の部)

| 科 目 | 予算額 円 | 適 用 |
|----------|-----------|----------------|
| 事務局費 | 80,000 | 諸会議費・交通費外 |
| 事務用品費 | 10,000 | 事務用消耗品 |
| 印刷費 | 10,000 | 諸印刷代 |
| 通信費 | 115,000 | 郵便切手・ハガキ・振込手数料 |
| 慶弔費 | 70,000 | 慶弔費、餞別 |
| 会議費 | 430,000 | 役員会・諸会議費 |
| 総会関係費 | 300,000 | 総会準備金 |
| 会報発行費 | 155,000 | 会報印刷費外 |
| 学校祭関係費 | 135,000 | 学校祭協賛諸費 |
| 同期会等助成費 | 180,000 | 同期会・同好会助成 |
| 新会員関係費 | 250,000 | 記念品代、研修費 |
| 体育文化助成費他 | 230,000 | 体育文化後援会・東校後援会 |
| 特別会計積立金 | 100,000 | 積立金繰り入れ |
| 予 備 費 | 15,000 | |
| 計 | 2,080,000 | |

☆特別会計他積立金決算書

| 平成16年7月1日現在 | 金額 | 増 額 | | 減 額 | | 平成17年6月30日現在 | 金額 |
|---------------------------|-----------|---------|----|---------|----|---------------------------|-----------|
| | | 金額 | 事由 | 金額 | 事由 | | |
| 1 特別会計積立金 | | | | | | 1 特別会計積立金 | |
| (1) みずほ信託銀行札幌支店 | | | | | | (1) みずほ信託銀行札幌支店 | |
| 貸付信託 | 300,000 | | | | | 貸付信託 | 300,000 |
| 金銭信託 | 349 | 62 | 利息 | | | 金銭信託 | 411 |
| 小 計 | 300,349 | 62 | | | | 小 計 | 300,411 |
| (2) 中央三井信託銀行札幌支店 | | | | | | (2) 中央三井信託銀行札幌支店 | |
| 貸付信託 | 2,600,000 | | | | | 貸付信託 | 2,600,000 |
| 金銭信託 | 115,614 | 579 | 利息 | | | 金銭信託 | 116,193 |
| 小 計 | 2,715,614 | 579 | | | | 小 計 | 2,716,193 |
| (3) 札幌信用金庫本店 | | | | | | (3) 札幌信用金庫本店 | |
| 定期預金 | 2,007,219 | | | | | 定期預金 | 2,007,219 |
| (4) 札幌銀行菊水支店 | | | | | | (4) 札幌銀行菊水支店 | |
| ア 定期預金(14.6.28~17.6.28) | 100,000 | | | | | ア 定期預金(14.6.28~17.6.28) | 100,000 |
| イ 定期預金(14.6.20~17.6.20) | 100,000 | | | | | イ 定期預金(14.6.20~17.6.20) | 100,000 |
| ウ 定期預金(15.11.26~16.11.26) | 974,202 | 79 | 利息 | | | ウ 定期預金(15.11.26~16.11.26) | 974,281 |
| エ 定期預金(15.6.24~18.6.24) | 100,000 | | | | | エ 定期預金(15.6.24~18.6.24) | 100,000 |
| | | 100,000 | 積立 | | | 才 定期預金(17.6.1~18.6.1) | 100,000 |
| 小 計 | 1,274,202 | 100,079 | | | | 小 計 | 1,374,281 |
| 2 預り金会計 | | | | | | 2 預り金会計 | |
| 百周年記念基金(定期預金) | | | | 203,633 | 支出 | 百周年記念基金(普通預金) | |
| 札幌銀行菊水支店 | 2,423,380 | | | | | 札幌銀行菊水支店 | 2,219,747 |
| 3 名簿基金 | | | | | | 3 名簿基金 | |
| 札幌銀行菊水支店 | | | | | | 札幌銀行菊水支店 | |
| 定期預金(13.7.10~16.7.10) | 100,061 | 25 | 利息 | | | 定期預金(13.7.10~16.7.10) | 100,086 |
| 合 計 | 8,820,825 | 100,745 | | 203,633 | | 合 計 | 8,717,937 |

監査報告書

平成16年度の同窓会会計について、毎月作成の「同窓会会計出納計算書」、その都度作成する「収入・支出決議書」、その他「証拠書類及び帳簿・通帳」の監査を行いました。

監査の結果、会計処理の手続き方法は、適切であると認められました。

よって、当監査役は上記決算書が、平成17年6月30日現在の財務状態を適正に表示していることを報告いたします。

平成17年7月8日 監査役 中村瞳三四
監査役 佐々木信義

札幌東高等学校同窓会会則

第1章 総 則

- 第1条 本会は札幌東高等学校同窓会と称し連絡運営のため事務局を母校におく。
(白石区菊水9条3丁目 電話831-6332)
- 第2条 本会は会員の親睦と母校の発展に寄与することをもってその目的とする。
- 第3条 本会会員は正会員並びに名誉会員よりなり、正会員は札幌東高等学校卒業生及び準ずるものとし、
名誉会員は札幌東高等学校旧並びに現職員とする。

第2章 役員及び組織

- 第4条 本会に名誉役員をおく

- (1) 名誉会長 1名 現母校校長
(2) 名誉顧問 若干名 旧母校校長
(3) 顧 問 若干名 幹事会において決定のうえ総会の承認を得た者
(4) 相 談 役 若干名 幹事会において決定のうえ総会の承認を得た者

- 第5条 本会に次の役員をおく。

- (1) 会 長 1名 正会員中より幹事会で選出し総会の承認を得た者
(2) 副 会 長 10名以内 正会員中より幹事会で選出し総会の承認を得た者
(3) 幹 事 長 1名 正会員中より幹事会で選出し総会の承認を得た者
(4) 副幹事長 20名以内 正会員中より幹事会で選出し総会の承認を得た者
(5) 常任幹事 正会員中より各期の推薦に基づき会長が委嘱する。
(6) 幹 事 卒業時の各クラスより男女1名ずつ2名を選出する。卒業後7年を目処に、各期より若干名を改めて選出する。

- (7) 監 査 役 2名 正会員より総会で選出する。但し前記役員とは兼任できない。

- 第6条

- 第7条

- 役員の任期は3年とする。但し再選を妨げない。

- 役員の任務は次のとおりとする。

- (1) 会 長 会務を総括し本会を代表する。
(2) 副 会 長 会長を補佐し会長事故あるときは、その任務を代行する。
(3) 幹 事 長 役員の分掌する任務を総括し、幹事会・常任幹事会及び執行委員会を主宰する。
(4) 副幹事長 総務・広報・組織・母校・会計の任務を分掌し、幹事長を補佐する。
(5) 常任幹事 会本事業の運営について協議し、執行委員会の任務を補佐する。

- (6) 幹 事 会員間の連絡にあたり、幹事会に出席し組織強化に努める。

- (7) 監 査 役 会計業務を監査し、会計の正常な運営を図る。

- 第8条

- 本会は次の機関をおく。

- (1) 総 会 本会の最高議決機関で年1回定期総会を開き、必要に応じて臨時総会を開催する。
なお、定期総会の運営・実務は年次当番期が行う。
(2) 幹 事 会 総会に次ぐ議決機関で執行委員会の諮問事項を協議し、会の運営を協議、議決する。
(3) 常任幹事会 本会の事業計画、予算立案その他必要事項を協議する。
(4) 執行委員会 会長・副会長・幹事長・副幹事長で構成し、事業計画、予算立案その他必要事項を協議し、会の運営にあたる。

第3章 事 業

- 第9条 本会は会の目的達成のため次の事業を行う。

- (1) 総会の開催
(2) 会誌の発行
(3) 母校発展のための事業
(4) 本会の組織強化のための事業
(5) その他執行委員会で必要と認めた事業

第4章 会 計

- 第10条 本会の会計は正会員の会費・寄附金及び総会剰余金をもってこれにあてる。

- (1) 入会金は、2,000円とする。
(2) 年会費は、1ヶ年1,000円とする。

- 但し、毎年納付にかえて、一口10,000円を一時に納付することにより、終身会費とすることができます。
本会の会計年度は7月1日より翌年6月30日までとする。

- 第11条 監査役は会計年度終了時に会計監査を行い、その結果を総会に報告する。

第5章 附 則

- 第13条 会員は住所、姓名等一身上の異動があったとき、これをすみやかに本会事務局又は各期代表幹事まで連絡しなければならない。

- 第14条 会則の変更は、総会において出席者の3分の2以上の承認を得なければならない。

- 第15条 会計業務は、母校事務局で行う。

- 第16条 本会則は昭和35年8月21日より施行する。

- 一部改正～昭和49年8月23日
昭和50年8月25日
昭和51年8月25日
昭和52年7月17日
昭和56年8月22日
昭和62年8月21日
平成8年8月23日
平成11年8月20日
平成16年8月14日

北海道札幌東高等学校 同窓会役員名簿

平成17年6月現在

*名簿メンテナス (株)廣済堂 札幌営業所(伊藤孝治所長) 060-0051 札幌市中央区南1条東3丁目10-1 北海道日文文化会館5F 電話241-0501 FAX241-0511

母校は今、

(近況報告)

■全道大会戦績

[卓球部]

- 男子団体 1回戦敗退
- 男子シングルス ベスト16 (松永)

[サッカーチーム]

- 準優勝 (全国大会へ)

[ソフトテニス部]

- 女子団体 ベスト8
- 女子ダブルス ベスト32

(小林・進藤組)

- 男子ダブルス 2回戦敗退

(西澤・西館組)

[剣道部]

- 男子個人 (中村健太郎) 1回戦敗退

[陸上部] (入賞者のみ)

- 男子走幅跳 優勝 (中井信吾) (全国大会へ)

- 男子三段跳 5位 (中井信吾) (全国大会へ)

- 女子砲丸投 4位 (鈴木日菜) (全国大会へ)

[体操部]

- 女子2部団体 5位

- 女子2部個人総合 2位 (鈴木美紗)
- 種目別段違い 2位 (鈴木美紗)

- 男子2部団体 2位 (西海俊秀)
- 男子2部個人種目別平行棒 2位

(西海俊秀)

[テニス部]

- 男子ダブルス ベスト16 (田渕・藤田組)

[水泳]

- 男子200m個人メドレー (後藤健一郎)

- 男子400m個人メドレー (後藤健一郎)

■今春卒業生の主な進路先一覧

(1) 平成十六年度人試 合格者数集計
国公立大学以外は延数 () 内は前年度数

道内国公立大学 道外国公立大学
道内私立大学 計 国公立大学 計

| | | | | | | | |
|--------------------|----|-----|----|-----|-----|----|-----|
| 道外私立大学 | 19 | 209 | 44 | 165 | 174 | 40 | 134 |
| 私立大学 計 | 22 | 27 | 54 | 163 | 132 | 25 | 107 |
| その他の学校 | 22 | 27 | 54 | 163 | 132 | 25 | 107 |
| (2) 大学別合格者数 (一部抜粋) | 19 | 209 | 44 | 165 | 174 | 40 | 134 |

2 1 1 1 10 5 28 20 67
 1 (2) 0 (2) 5 (4) 29 10 57

北海学園大学

北星学園大学

慶應大学

早稲田大学

同期会助成金について

親睦の和を広げる同期会の助成金について、お知らせいたします。

(1) 目的 同期間の交流を拡大し

(2) 基準 卒業期全体を対象とする

(3) 金額 1回につき、一万元と

する。但し、初回は三万円とする。

(4) 手続 同期会開催通知(案内状等)に参加(予定)人

数と銀行振込口座を付記

して、事務局へ郵送又はファックス送信する。振込先は、同期会代表者又

は会計担当者とする。

※ 事務局の住所・ファックス番号は、P14の役員名簿参照

北海学園大学
北星学園大学
慶應大学
早稲田大学

49 45
(30 45)

3 4
(2 4)

寄贈のお願い

古いバッジ・卒業アルバム・その他思い出の物件を同窓会の備品として保管すべく整理しておりますので、お手持ちの方がおりましたら、ご寄贈下さいますようお願いいたします。

ーあとがきー

今年度の会報をお届け致します。
お忙しい中、原稿をお寄せ下さい

ました校長先生を始め、同窓生各位、また学校関係の資料をまとめ

て下さった同窓会事務局の先生方に厚くお礼を申し上げます。会報

ご希望の方は、母校事務局又は幹事長の小山へお申し出下さい。

※年会費1000円領収いたしました。

東高同窓会長

平成十七年八月

